

令和7年度 諸塚村立諸塚小学校

自己評価及び学校関係者評価書

※評価は【A:そう思う B:どちらかといえばそう思う C:どちらかといえばそう思わない D:思わない E:わからない】の5項目で自己評価しました。
(E(分からない・評価できない)の数値が大きいと、傾向を把握しにくいいため、E項目の数値を省いた母数で割合を出してあります。)

作成日 令和8年3月
作成者 諸塚村立諸塚小学校

【I 学力・授業力向上】

重点項目	達成状況指標	達成状況	自己評価	学校関係者コメント	学校関係者評価	今後の改善策
(1) 学習指導法の工夫・改善 ○ 授業力の向上 ○ 少人数のよさを活かした個に応じた指導 ○ タブレットの効果的な活用	① 授業中、じっくり考えたりまとめたり、友達と話し合ったりしていますか。(3者アンケートのA・B評価それぞれ90%以上)	児童 100%	A	②保護者の評価が95%であるのは、保護者が授業について、「子どもの授業の様子が分からない」ということからだろう。 ③タブレットの使用によって、文字を書くことがおろそかになってはいけなくて、タブレット学習を進めることと並行し、文字をかくこと、丁寧にかくことも指導して欲しい。	A	・研修等を通して指導力向上やタブレットの効果的な活用法についてさらに研究を深めていく。
		保護者 98%				
		教師 100%				
	② 学校の授業がよく分かり、楽しく授業を受けていますか(3者アンケートのA・B評価それぞれ90%以上)	児童 100%	A			
		保護者 95%				
		教師 100%				
	③ 「タブレット端末」を使った学習を、楽しんでいますか。(3者アンケートのA・B評価それぞれ90%以上)	児童 100%	A			
		保護者 98%				
		教師 100%				
(2) 学力向上 ○ 家庭との連携を図った家庭学習の定着 ○ 読書活動の推進	① 家庭学習にしっかり取り組んでいますか。(3者アンケートのA・B評価それぞれ80%以上)	児童 83%	A	①家庭学習について、教師の評価が高いのに対して児童・保護者が低いが、提出状況を見ての評価になっているからではないか。 ②保護者の評価が低いのは、家庭での読書についての状況把握が難しいのではないか。 ③教師の評価が昨年より下がっているが改善策は実施されたのか。	B	・読書記録の方法について改善を図る。 ・達成状況指標や重点項目の見直しや改善を図る。 ・家庭学習について職員間で共通理解を図る。
		保護者 84%				
		教師 100%				
	② 進んで読書をしていますか。(3者アンケートのA・B評価それぞれ80%以上)	児童 85%	B			
		保護者 66%				
		教師 78%				

【Ⅱ 豊かな心の育成】

重点項目	達成状況指標	達成状況	自己評価	学校関係者コメント	学校関係者評価	今後の改善策	
(1) 豊かな心の育成 ○ 学級経営の充実による望ましい人間関係の醸成 ○ 教育活動全体を通じた人権意識を高める指導	① 困っている友達に優しく接していますか。(3者アンケートのA・B評価それぞれ90%以上)	児童	97%	A		A	・できている児童への声かけ、称賛を通して、望ましい行動の継続を図る。 ・「もろっこ集会」など全校が集まる場で望ましい言動等を示すなど指導を継続する。
		保護者	93%				
		教師	100%				
	② 友達に意地悪をしないで仲良く過ごしていますか。(3者アンケートのA・B評価それぞれ90%以上)	児童	100%	A			
		保護者	98%				
		教師	90%				
	③ 先生、友達、おうちの人にあやまらないといけないときにしっかりとあやまることができていますか。(3者アンケートのA・B評価それぞれ90%以上)	児童	98%	A			
		保護者	93%				
		教師	100%				
(2) 基本的な生活習慣の定着 ○ 無言清掃の徹底	① 無言で心をこめた掃除ができていますか(アンケートのA・B評価それぞれ90%以上)	児童	98%	A	(2)-②の達成状況指標は、(1)豊かな心の内容ではないのか。⇒豊かな心の育成にあいさつは重要だが、基本的な生活習慣として定着を図りたいため(2)の指標としている。 ②教師の評価が80%と低いのはなぜか。⇒会釈等の指導は行っているが、まだ、不十分なため。 ②地域のあいさつはよい。「あいさつ」は、人に伝えないと伝わったことにはならない。家での「あいさつ」に対する取り組み方も如実に表れる。 ②あいさつが形式的なものになっていないか。「おはよう」「ありがとう」「ごめんなさい」を自然と口に出せる子どもを育てたい。 ②あいさつは、特に家庭の役割であるという部分が多い。 ②子どもの性格による部分もある。	B	・教師のあいさつ運動への参加の継続 ・保護者へのあいさつ向上に向けた啓発 ・「あいさつ名人」の表彰を継続する。 ・児童・教師・保護者の認識の違いをなくすため、よい「あいさつ」について職員間の共通理解を図り児童に広めていく。
		保護者	88%				
		教師	100%				
	② いつも誰にでも心のこもったあいさつができていますか。(3者アンケートのA・B評価それぞれ90%以上)	児童	100%	B			
		保護者	85%				
		教師	80%				
(3) 環境美化の推進 ○ みどりの少年団活動の充実	① みどりの少年団活動にしっかり取り組んでいますか。(3者アンケートのA・B評価それぞれ90%以上)	児童	82%	B	A	・朝のボランティアや花の世話等、活動に個人差が見られることからよい行いを全校に紹介し、行動を広める。 ・1、2年生は生活科、3～6年生は総合的な学習の時間と関連させながら今後も「もろつかの自然のよさ」について学習をすすめる。	
		保護者	-				
		教師	100%				
	② ふるさともろつかの自然を大切にしていますか。(3者アンケートのA・B評価それぞれ91%以上)	児童	93%	A			
		保護者	98%				
		教師	100%				

【Ⅲ 健康・安全の維持向上】

重点項目	達成状況指標	達成状況	自己評価	学校関係者コメント	学校関係者評価	今後の改善策
(1) 体力向上	① 外で元気に運動したり、体を動かして遊んだりしていますか。(3者アンケートのA・B評価それぞれ80%以上)	児童 94%	A	A	A	①外遊びについて家庭での状況による評価も入っているのではない。 ・休みに外で遊ぶ児童が多い。保健体育委員会による「全校で遊ぶ日」の実施について検討する。 ・休日に家庭でも外で遊ぶことが増えるようにしていく。
		保護者 93%				
		教師 100%				
(2) 健康の保持・増進	① 体のために好き嫌いをせず、食べ物を大事にしていますか。(3者アンケートのA・B評価それぞれ80%以上)	児童 96%	A	A	A	①学校での残滓はどうか。⇒個人の食べる量を調整していることから、ほとんど残らない。 ①学校ではしっかり食べているが、家では好き嫌いが出てしまうこともある。 ・給食では何でも食べたり、苦手なものでも挑戦する児童が多い。家庭で見られる好き嫌いに関して、栄養教諭とも連携しながら発達段階に応じた授業を実施する。 ・家庭での歯みがきの習慣づけについて、生活リズムチェック(各学期1回実施)に項目を設定し、児童や保護者の意識を高めたり、振り返りをさせたりする。
		保護者 81%				
		教師 100%				
	② 食事の後や寝る前に進んで歯みがきをしていますか。(児童・保護者アンケートのA・B評価それぞれ80%以上)	児童 95%				
		保護者 89%				
		教師 100%				
(3) 危機回避能力の育成 ○ 避難訓練等による安全意識 ・技能の向上	① 安全な行動について考え危険なことをしないようにしていますか。	児童 100%	A	A	A	・①効果的な安全対策を行って欲しい。 ・①運転者によっては車の速度などが心配な状況が時折見られる。 ・①駐在所警官の協力がありがたい。 ・②通学路の点検や整備など、公民館も協力できる部分は協力したい。
		保護者 100%				
		教師 100%				
	② 火事や地震、大雨の時、自分のいのちを守るための行動を知っていますか。(児童・教師アンケートのA・B評価85%以上)	児童 100%				
		保護者 98%				
		教師 100%				

【Ⅳ 家庭・地域との連携】

重点項目	達成状況指標	達成状況	自己評価	学校関係者コメント	学校関係者評価	今後の改善策
(1) キャリア教育の推進 ○ 地域素材の活用、人材との連携、教育活動への積極的な活用	① 地域の方との学習や活動に進んで取り組みましたか。(3者アンケートのA・B評価90%以上)	児童 100%	A	A	A	・外部講師のリスト作成を行い、積極的に地域の人材を活用できる環境を整えるようにする。 ①5、6年生のふるさと学習でアドバイスをしたが、助言を前向きに、自分のこととして吸収し、学習発表会で発表していた。 ①花壇の整備をしてもらっているが、子どもの習い事や部活と重なってしまうことがあり、地域行事への子どもの参加が少ない地区もある。
		保護者 98%				
		教師 100%				
	② 学習を通して自分の成長を感じたり将来のことを考えたりしていますか。(3者アンケートのA・B評価90%以上)	児童 93%				
		保護者 98%				
		教師 100%				